

## 校長室だより～ロングビュー紀行 第6号 H29.9.3

埼玉県立和光高等学校 校長 村田 達

### 第5日目 8月24日(木)

個人的に最も楽しみにしていたのがこの日である。市役所寄口さんの仲立ちでポートランド在住の谷田部勝さんに市内および周辺の案内をしていただくことが決まっていた。谷田部さんは御年80歳、早稲田大学在学中にレスリング修行のために渡米、日本でもインターハイチャンピオンであったが、後に地元の大学に編入し全米学生王者にも輝いた経歴の持ち主。銀行に勤めながら日米の文化・経済・教育など様々な橋渡しをされてきた方である。実は本校教諭椿洋之が今夏外務省主催の「将来を担う若手教師の海外派遣」事業に選ばれて前週までの20日間を過ごしたのがポートランド。そして谷田部さんの講演を傾聴し、氏が経営に携わるUS-Jコネクト社長である宮石具朗氏には一方ならぬお世話になったとのこと。不思議な縁を感じる。

朝ホテルまで2日ぶりの恵子さんそしてロングビューに住まわれているやはり敬子さんに車で迎えに来ていただきポートランドに向かう。敬子さんは私よりも少し年上の大阪出身の女性、旦那さんがアメリカ人ですでに20年以上米国暮らし。大阪弁よりも英語の方が上手いとのこと。1時間弱の楽しい車中である。

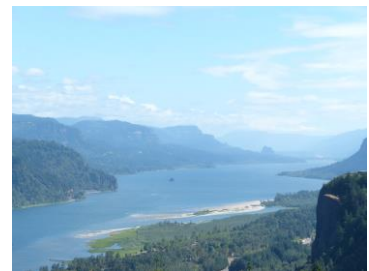


谷田部さんのオフィスで記念撮影

会社オフィスで対面した谷田部さんは想像通りの紳士、温和で上品で知性溢れる方である。外見も若々しいが、鍛えた中身はさらにその上に行く。早速谷田部さんの車の助手席に移るがこれがまた大変スマートで上手な運転であった。ご自身の話やポートランドにまつわる話も興味深きうかがい、豊富な知識とご経験そして暖かな人柄により本当に楽しいドライブであった。

### コロンビア峡谷へ

最初の目的地はロッキー山脈を源とする大河コロンビア川の中流部、オレゴン州とワシントン州の州境である。川と断崖絶壁の間に作られた道路はどこを見ても絶景。「ヒストリックハイウェイ」と呼ばれるもっとも景色の美しいところに作られた道路だそう

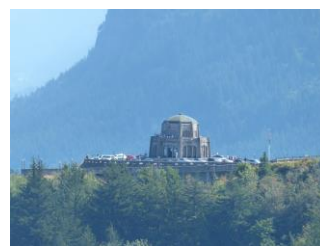


うだ。ウィメンズフォーラム展望台、クラウンポイント、ビス

タハウスなどの名所を回りながらいよいよ有名な滝めぐり。渋滞



気味で時間が押しながらも「此処だけは是非」というお言葉に甘えワーキーナやマルトノマなどの名瀑を訪ねた。想像を絶する素晴らしい迫力と美しさは一生の思い出だ。



ビスタハウス遠景



左  
ケイコさんに挟まれて

右  
189mの落差 マルトノマの滝



本当にお世話になりました。



再びポートランドに戻ったのは午後1時。本来はお別れの時間だがさらに市街を案内していただく。目的地は世界最高



今年完成した隈研吾氏設計のギャラリー棟

とされている「日本庭園」である。実は谷田部さんは庭園創設期から深く関わりをもっていっしやる。ワシントンパーク内にある「オレゴン日本庭園」が完成したのは1967年。造園技術や庭園美を追求した





この素晴らしい庭園の企画から設計そして資金集めなど縦横にご活躍されたそうだ。当然ながら造詣も深くこんな贅沢なガイドさんはいない。能舞台・茶室・玉砂利・枯山水などどこをとっても最高の内容がここにあった。



右 水原秋桜子の歌碑

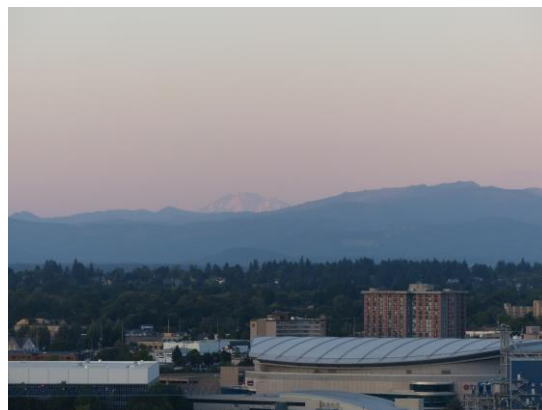
左 能舞台から広がるカスケード山脈（うっすらとマウントフッドが）



という事で最高の日を谷田部さんからいただきました。本当にありがとうございました。ありがとうございました。

谷田部さんとお別れし再びケイコさんたちと市内に。設計事務所で働いている敬子さんのご主人を交え洒落たパブ風のレストランでディナーとなりました。この設計事務所のオフィスも案内していただき最先端の建築

について説明していただきました。ポートランド国際空港や日本の柏市「柏の葉ニュータウン建設」にも関わっているそうです。23階建てビル事務所屋上からの夕景も素晴らしく近代的な街並みと遠くに見える山脈の雄大さが印象的でした。



時刻は既に午後9時。高緯度にあるため太陽がなかなか沈みません。